

## マイクロ構造の3次元形状計測に向けた 蛍光信号測定による垂直面の検出



目で見ると  
海外論文発表

福井 彩乃\*

Surface detection of Vertical Sidewall by Measuring  
Fluorescent Signal for Three-dimensional Shape Measurement  
of Microstructures

Key Words : Fluorescence, Vertical sidewall, Shape measurement

今回参加させて頂いたのはドイツの西部に位置するアーヘンで開催された、International Symposium on Measurement Technology and Intelligent Instruments (ISMTI) という精密計測技術に関する国際学会です。ポスター・オーラルセッション合わせて200以上もの講演があり、18か国からの参加者が集まっていました。写真1は発表本番の様子です。国際学会での講演は初めてで、大きい会場だったことと慣れない英語での発表に緊張しましたが、その分自分の研究を国際的な場で発表できる喜びを感じることが出来ました。幸いなことに質疑応答だけでなく発表終了後にも質問を頂けるなど、多くの先生方に興味を持って頂き、自分の取り組んでいる研究の意義を再認識し充実した機会となりました。学会中は他にも、参加者の発表や研究所の見学ツアーなどに参加させて頂きました。研究生活で中心となるマイクロ光計測の分野だけでなく、触針式を用いた計測分野の研究やGPSを用いたロボットによる位置決め制御の研究など、多くの最新研究に対する知見を広げることが出来ました。

初日に行われたレセプションパーティや学会終盤のバンケットでは、日本の他大学の先生方やドイツの大学の研究者の方と交流させて頂きました(写真2~4)。中には29歳にも関わらずすでに2社起業されている方もいて、ご自身の専門分野や考え方に

ついて熱く語っておられました。その姿をみて感じたことは、まず自分の専門知識を確立することとそれを将来活かしていくビジョンを描き、人に話せる・実行していくことの重要性です。そのためには一つの事柄に対し、人に語れる意見を持つこと、そして英語力を上げて様々な方々と議論できるように努力すべきだと思いました。

学会全体を通して多くの方々と出会い、様々な研究分野への知見だけでなく海外に向けた視野も広がられました。今後も研究に励み、将来は海外の方とも対等に渡り合えるような技術者になりたいです。



写真1 発表の様子



写真2 初日・レセプションの様子



写真3 バンケットにて  
日本の先生方・学生との交流



写真4 海外の研究者の方々  
との交流



\*Ayano FUKUI

1988年5月生  
大阪大学大学院工学研究科機械工学専攻  
2014年卒業見込  
現在、大阪大学大学院工学研究科 機械  
工学専攻 大学院生 学士 光計測  
TEL : 06-6879-7321  
FAX : 06-6879-7320  
E-mail : fukui@optim.mech.eng.osaka-u.ac.jp